

徳富ダム建設工事共同事業者連携会議（第10回） 議事要旨

日 時 平成22年7月27日（火） 14:40～15:40

場 所 札幌開発建設部 4階2号会議室

出席者

共同事業者

河川総合開発事業

北海道建設部土木局河川課 課長 久野 顕

北海道空知総合振興局札幌建設管理部事業室 室長 八木 盛繁

国営かんがい排水事業

北海道開発局農業水産部農業整備課 課長 山岡 敏彦

北海道開発局札幌開発建設部農業整備課 課長 佐藤 修児

北海道開発局札幌開発建設部

樺戸農業開発事業所 所長 横堀 将

水道事業

西空知広域水道企業団 事務局長 平 幹夫

道関係部局

北海道農政部農村振興局農村計画課国営調整担当課長 森 友秀

北海道環境生活部環境局環境推進課 水道担当課長 湯谷 仁康

地元自治体

月形町産業課 課長 久慈 富貴

浦臼町産業建設課 課長 川畑 智昭

（代理） 技術長 馬狩 範一

新十津川町建設課 課長 岩井 良道

雨竜町産業建設課 課長 野村 隆男

【議事録要旨】

開会 〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所 前川副長〕

予定の時刻となりましたので、ただ今から第10回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を開催いたします。

私は、運営事務局札幌開発建設部樺戸農業開発事業所副長の前川と申します。よろしく願います。議事次第に従って進めさせていただきます。

始めに、会則の改正についてですが、お手元の資料7ページ第5条構成及び8ページ第6条座長、第9条運営事務局についてアンダーラインで示していますが、北海道及び札幌開発建設部の機構改正に伴う機関名称等が変更になっております。

また、資料9ページの参考資料におきましても、同様に機関名が変更になっております。

これらにつきまして構成員の方々の合意を得て改正いたしたいと思っております。

如何でしょうか。

[一同 異議なし]

これを持ちまして第5条構成及び第6条座長、第9条運営事務局の一部改正について、案のとおり合意を得られ改正することとなりました。

それでは、当連携会議の座長であります北海道開発局札幌開発建設部農業整備課佐藤課長の進行により、会議を進めさせていただきたいと思っております。

佐藤課長よろしく申し上げます。

1 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 座長挨拶
〔北海道開発局 札幌開発建設部 農業整備課 佐藤課長〕

[挨拶概要]

この徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、徳富ダムにおける共同事業の実施に関する事項において、情報交換・精査検証並びに相互調整を行い、事業の円滑な推進を図ることを目的に、平成18年4月を第1回とし今回で第10回目の開催となっております。

今回の連携会議では、事業の状況と今後の見通しについて、平成22年度の実施計画概要、平成23年度の概算要求概要、事業に関連した地元地域の動静について情報交換並びに調整を行いたいと考えています。

なお、本会議における情報公開については、従来と同様に会議が行政機関のみの参集であることから、会議自体は非公開として扱わせていただきますが、議事内容・配布資料につきましては、札幌開発建設部のホームページを始め、共同事業者のホームページからリンクする他、関係自治体の方への情報公開に努めたいと考えていますので、よろしくご願ひいたします。

2 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 出席者紹介

3 共同事業者相互の調整

(1) 事業の状況と今後の見通しについて

徳富ダムは、平成16年度から堤体コンクリートの打設を進め、あわせて実施してきた浸透流対策につきましても地質調査の追加を行いながら進めてきたところです。

これら地質調査のうち、ダム上流部の地質調査の結果から、追加的な浸透流対策の必要が生じており、関係機関と対策工法の内容について調整を図りながら、試験湛水開始を目指して進めてきました。

しかしながら、これまでの調査結果を踏まえ、対策工法の検討を行うなかで、その対策の最終的な詰めのためには、更なる調査が必要と判断されたところです。

そのため試験湛水は、対策工事の実施後の平成23年度末以降に開始する予定です。

これらの事柄につきましては、事前に運営事務局会議において調整を行い、共同事業者並びに関係各位にご理解をお願いしているところです。

(2) 平成22年度 実施計画概要

河川総合開発事業

- ・ 徳富ダム建設事業の内、管理設備工事については、平成21年度に管理棟工事が完了したほか、平成20年度より進めてきた通信警報設備・ダム制御システムについても概成しています。平成22年度については、監視カメラの設置や係船設備を予定しているほか、ダム管理に向け調整を図っていきます。

[...平成22年度 実施計画概要へ〔資料 - P1,2〕](#)

- 国営かんがい排水事業〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所前川副長〕
- ・ 徳富ダムを含む農業用排水施設の整備を行う、国営かんがい排水事業樺戸（二期）地区は、平成３年度に着手し、早期の完了に向けて事業を進めております。徳富ダムは、平成２１年度までに堤体本体はほぼ完了し、平成２２年度については、平成２３年度末以降に開始を予定している試験湛水を目指して、基礎処理工等を実施する予定です。

[…平成２２年度 実施計画概要へ〔資料 - P1,3〕](#)

水道事業

- ・ 西空知広域水道事業は、平成７年に事業認可を受け、第４次拡張事業を実施しています。平成２０年度までに第４次拡張事業に係る水道施設工事は完了しております。

[…平成２２年度 実施計画概要へ〔資料 - P1,4〕](#)

(3) 平成２３年度 概算要求概要

河川総合開発事業

- ・ 徳富ダム建設事業の内、管理設備工事については平成２２年度末でほぼ完成の見込みです。平成２３年度には流木止め施設及び管理棟外構施設（フェンス等）の施工を実施する予定です。

[…平成２３年度 概算要求概要へ〔資料 - P1〕](#)

- 国営かんがい排水事業〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所前川副長〕
- ・ 徳富ダムを含む農業用排水施設の整備を行う国営かんがい排水事業樺戸（二期）地区は、平成３年度に着手し事業を進めており、平成２２年度までの進捗は事業費ベースで９０％を予定しています。
平成２３年度以降については、引き続き徳富ダム等の事業実施を進めてゆく予定です。

[…平成２３年度 概算要求概要へ〔資料 - P1〕](#)

水道事業

- ・ 西空知広域水道事業は、平成７年に事業認可を受け、第４次拡張事業を実施しています。平成２０年度までに第４次拡張事業に係る水道施設工事は完了しております。

[…平成２３年度 概算要求概要へ〔資料 - P1〕](#)

(4) 事業に関連した地元地域の動静について

月形町

１．関連事業

国営樺戸地区に関連しまして、浦臼町の一部を含む札比内北側の札豊地区の道営土地改良整備事業が平成２２年度から工事を着手しております。農地集積による経営規模拡大と農業生産性の向上を図るものとし、平成２６年度の完成を目指しています。

2. 農業の状況

本年の水稲・小麦等の農作物の生育状況は4月5月は天候不順で1週間程度遅れがありましたが、6月以降気温が高い天候が続いて現在は平年を上回る7日くらい早い作況であります。降雪量は前年より多くなりましたが、今後の天候にもよりますが、ダム等の水不足による農作物への影響がでることも予想されます。地域としてはダムの早期完成を望むところです。

3. 徳富ダム見学

地域活動としまして、町議会や各団体等多数の町民にダム等の視察を行い、ダム事業の必要性をPRし、早期完成を要望していきたいと考えています。

4. 農業予算

平成22年度の農業農村整備事業予算が前年度より縮減されましたことから、農業農村整備事業の工事量や完成年度の延長、新規採択等にも影響がでると思います。また農業分野だけでなく、農業に係わる建設分野にも影響があると思います。厳しい状況が予想されますことから、関係機関との連携により、国営事業はもとより農業農村整備事業の予算確保に向けて努めていきたいと思っています。

浦臼町

本町の動静についてお話しさせていただきます。まず、本年度の水稲の作況ではありますが、冬期の豪雪に続く春先の低温多雨により播種が遅れ、田植え作業も1週間から10日の遅れが出るなど、決して良いスタートとは言えない状況となり心配しておりましたが、6月から急激に持ち直し7月1日現在では平年並みにまで回復しております。ただし、余りにも高温の好天が続いているため、分けつが進まず例年より草丈が長い状態が見受けられますので、出来秋を迎えるまでは予断を許さない状況が続くものと予想しています。

ほ場整備関連では、道営事業の浦臼地区地域水田農業支援緊急整備事業が、平成18年着手から4年を経まして、一部繰越事業を残しておりますがほぼ完了となっております。また、札豊地区農地集積加速化基盤整備事業につきましては、平成25年の事業完了に向け事業実施中となっております。

ダムの見学につきましては、昨年は堤体の完成により町内会や商工会関係者など多くの町民が見学させていただいたところです。本年におきましても、積極的な呼びかけを行い、多数の方々に理解と関心を持っていただけるよう努めてまいりたいと考えております。

新十津川町〔岩井建設課長〕

新十津川町といたしまして、「情報公開」、「水需給の状況」、「農業関係」について報告させていただきます。

情報公開（第9回、7/3開催分）

- ・ 前回の連携会議後においては従前と同じく、町のホームページ、広報誌及び役場建設課窓口に縦覧し、周知に努めています。

水需給の状況

- ・ 冬期の降雪量は4年振りの豪雪であり、現状としては平年並みの通水量が確保されていることから、今後においても概ね良好に推移する見通しです。

農業関係

- ・ 本年度、水稲の作付けは、約3,600haを全て主食用として考えています。他に酒米として69haがあります。生育状況は例年より融雪が遅れ、田植えも5日程度遅れたが、その後、好天が続き7月15日現在の状

況で平年より5日程度進んでいる状況と思われます。小麦は2日程度進んでいます。その他の作物についても平年並みかやや進んでいる状況です。

雨竜町

国営樺戸（二期）地区に係る事業として、国営農地再編整備事業雨竜暑寒地区の地区調査を実施しているところですが、現在、札幌開発建設部による受益者に対する具体的な整備計画説明を行いながら、受益者の意向等聞き取り調査を実施しています。

これに伴い今年、7月1日付、町では、町土地改良事業担当と合体させて、農協・改良区・町の3団体から専任職員1名ずつを出向させ、地元推進体制を整えるため、「国営農地再編整備事業雨竜暑寒地区推進本部」を設置いたしました。今後、さらに札幌開発建設部との連携を図りながら、地元としての役割を果たしていくこととしております。

道営農地基盤整備事業では、新規地区1地区の調査設計と、継続地区3地区の事業を実施しています。

質疑応答

Q1：試験湛水が平成23年度以降に開始されることになるのであれば、具体的な今後の見通しや工程についてどのような共通認識を持ち、地元町や対外的に説明するのでしょうか。

A1：現在実施している浸透流対策の検討結果を踏まえ、今後の工程などについて、関係機関や共同事業者と協議を行いながら連携会議等で説明していきたい。

とりまとめ〔座長〕

事業の状況と今後の見通し及び各事業者の平成22年度実施計画概要と平成23年度概算要求概要についての報告並びにこれまでの議事の結果、徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、「徳富ダムの早期完成に向け努力することを相互に確認できました。また徳富ダム建設にあつては、今後ともコスト縮減に努め早期の完了に向けて連携を深めながら事業を着実に進捗する。」ことと致したいと思っております。如何でしょうか。

[一同 異議なし]

ありがとうございました。

4 今後の予定〔事務局より報告〕

次回の連携会議は、これまでは実施計画策定期間である2月頃の開催に向けて調整していましたが、事務局で検討しご連絡いたします。

情報公開方法についてですが、議事要旨及び配付資料の公開は、連携会議構成員の確認を得て、速やかに施工主体である北海道開発局札幌開発建設部のホームページに掲載し、共同事業者等は、各自のホームページ上に、上記ホームページのリンクを張り付けていただきます。また、関係4町は、広報に上記ホームページのURLを掲載する一方、各役場の掲示版等に議事要旨及び配付資料を掲げてください。国の実施事業所である樺戸農業開発事業所においても希望者に資料を配付する体制を整えることとしたいと思っております。

- 5 その他〔座長〕
提案など何かございませんか。

[特になしの声]

それでは、以上を持ちまして第10回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

以上